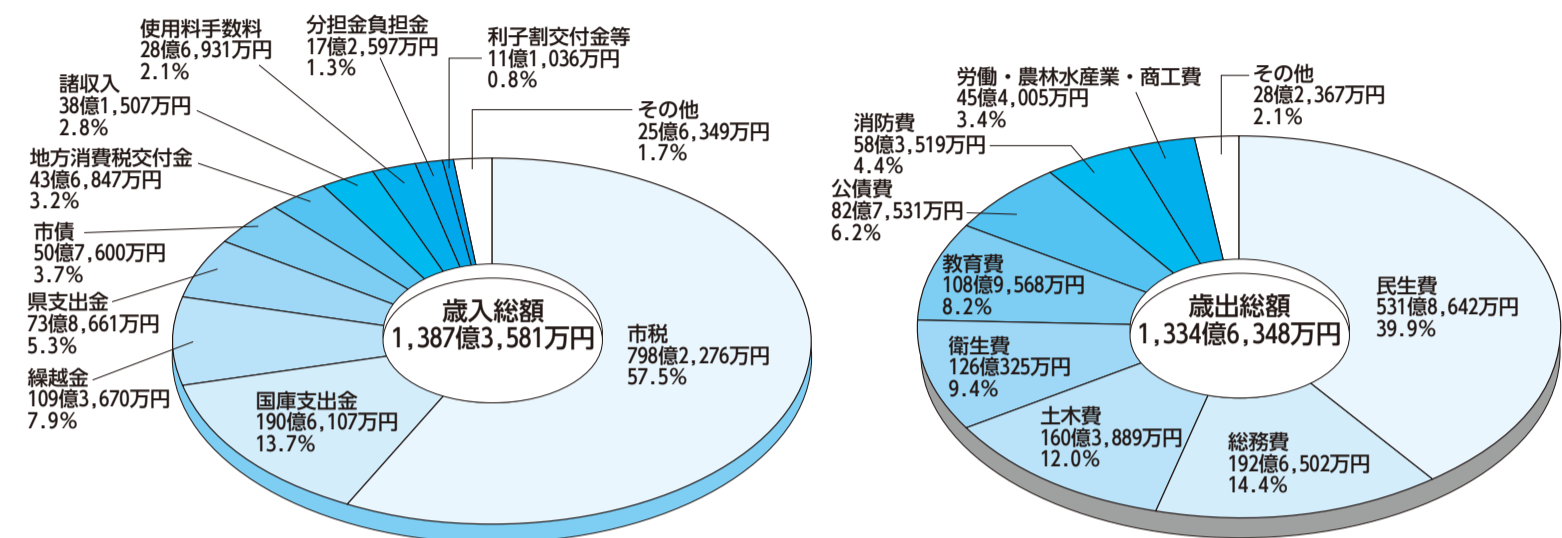


2014(平成26)年度 決算のあらまし

2014(平成26)年度一般会計決算状況



2014(平成26)年度の一般会計および特別会計の決算が、10月8日に市議会で認定されましたので、お知らせします。
問い合わせ 財政課☎内線2302

一般会計 特別会計とは？

「一般会計」とは、市の予算のうち、福祉・教育・土木など行政運営に必要なお金の会計のことです。
これに対し、国民健康保険事業や下水道事業など特定の事業のお金は「特別会計」として、別に会計しています。
特別会計の決算概要は差し込み面に掲載しています。

市の決算は黒字です

一般会計決算の歳入総額は1,387億3,581万円、歳出総額は1,334億6,348万円です。歳入歳出引額は52億7,233万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源5億8,387万円を差し引くと、46億8,846万円の黒字となりました。

歳入は前年度より約50億円増加しました

歳入の根幹をなす市税収入は、法人市税の減などで、総額で798億2,276万円、前年度に比べ3.0%の減収となりましたが、市税収入以外の国庫支出金や県支出金、繰越金が増となったことなどから、歳入全体では前年度に対し3.7%、49億4,953万円の増収となりました。

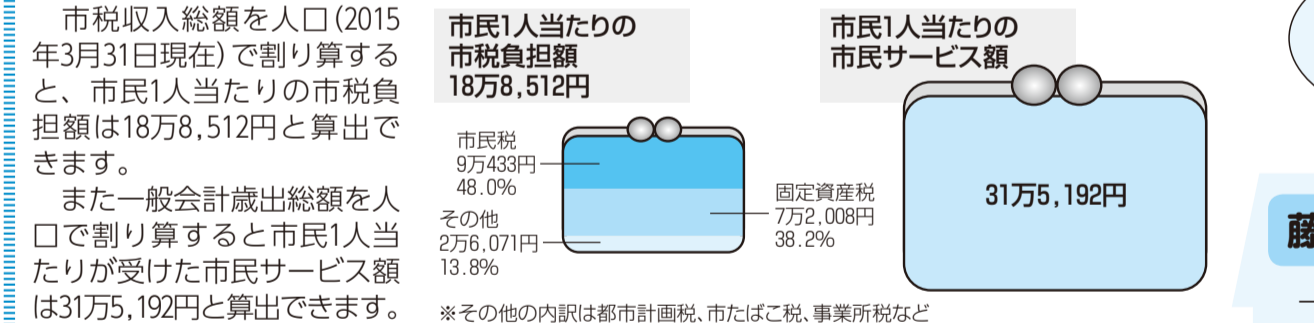
歳出は前年度より約106億円増加しました

歳出では、前年度に比べサイクリングセンター整備事業費などが減少しましたが、消防救急基地局無線デジタル化事業費および公共施設整備基金への積み立てなどが増加したため、前年度に対し8.6%、106億1,389万円の増加となりました。
全会計の市債残高を市民1人当たりすると31万6,059円となります。

市の借金は全体で約1,338億円です

道路、学校などの公共施設を整備するために、国などから借り入れる資金を市債といいます。
2014年度に借り入れた市債は、一般会計で50億7,600万円、全会計では94億9,000万円です。また借り入れた市債の年度末残高(元金)は、一般会計で664億8,621万円、全会計では1,338億3,048万円となり、前年度と比較してそれぞれ22億5,427万円、32億4,459万円減少しています。

市の決算を「市民1人当たり」で考えると？ 税金の負担額は約18.9万円、市民サービス額は約31.5万円です



藤沢市の財政を家計に例えると...

一般会計決算の規模を家庭の家計簿に当てはめてみました。年収を500万円とすると...

【収入】	
給料(市税収入など)	370万円
住宅ローン借入(市債借入)	20万円
その他臨時収入(国庫・県支出金など)	110万円
【支出】	
日常生活費(人件費・扶助費・物件費など)	393万円
住宅ローン返済(公債費)	33万円
家財購入・修繕(投資的経費など)	53万円
貯金(積立金)	21万円

家庭の家計簿と市の財政では、お金の使い道が違うので、単純に比べられませんが、一般会計決算を家計に例えると、年間500万円の支出のうち、日常の生活費に393万円、住宅ローン返済に33万円を充てていることになります。

〈市民1人当たりの予算の使い道〉

議会費 (市議会の運営) 1,582円	民生費 (児童・高齢者・障がい者の福祉) 12万5,607円	農林水産業費 (都市農業・水産業の振興) 2,932円	消防費 (消防・救急活動) 1万3,781円
総務費 (戸籍・住民・課税事務など市役所の運営) 4万5,497円	衛生費 (市民の健康の維持増進、ごみ処理) 2万9,764円	商工費 (商工業・観光の振興) 6,305円	教育費 (学校・社会教育、スポーツ振興) 2万5,732円
環境保全費 (生活環境・みどり・安全対策・公害防止) 5,087円	労働費 (勤労者福祉、就労支援など) 1,484円	土木費 (都市計画、道路・公園整備、住宅など) 3万7,878円	公債費 (市債の償還金) 1万9,543円

※今年度も市の財政状況を分かりやすく解説した「わかりやすい藤沢市の財政」を作成する予定です

このような事業に重点的に取り組みました

- ### 総務費
- ◇公式ホームページ全面リニューアルの実施 718万円
 - ◇新庁舎建設に係る実施設計、既存庁舎の解体工事などの実施 4億401万円
 - ◇キャッチフレーズ「キュンとするまち。藤沢」・ロゴマークの作成などシティブロモーションの推進 1,182万円
 - ◇郷土づくり推進会議の運営と地域まちづくり事業の実施(13地区) 3,868万円
 - ◇六会市民センター・北消防署六会出張所新築工事などに着手 1億6,491万円
 - ◇マルチパートナーシップの考え方にに基づく市民活動団体との協働事業の実施 392万円
 - ◇地域の緑側モデル事業の実施 744万円
 - ◇村岡東2丁目防災広場の整備、片瀬山プール跡地防災備蓄拠点の整備 6,455万円
 - ◇防災行政無線と連動した防災ラジオシステムの整備・試験運用の開始 1,720万円
 - ◇防災行政無線子局43局のデジタル化更新工事などの実施 2億8,626万円
 - ◇日本非核宣言自治体協議会設立30周年記念大会の開催 100万円
 - ◇藤沢市市民憲章制定50周年を記念した式典・啓発事業の実施 757万円

- ### 環境保全費
- ◇家庭用燃料電池システム・住宅用太陽光発電システム・雨水貯留槽の設置者に補助 2,542万円
 - ◇川名清水谷戸および片瀬山5丁目の緑地取得による保全 7億6,026万円
 - ◇「藤沢市エネルギーの地産地消推進計画」の策定 980万円
 - ◇自治会・町内会などが管理する防犯灯の設置費・LED化などへの助成 2億1,376万円

- ### 民生費
- ◇生きがい福祉センターの建設工事に着手 1億1,446万円
 - ◇生活困窮者自立支援制度の円滑な導入のためモデル事業を実施 1,666万円
 - ◇江ノ島電鉄鶴沼駅のエレベーター整備(改札口から西口駅前広場までの1基)に対する補助 1,667万円
 - ◇医療法人による介護老人保健施設整備への補助 8,000万円
 - ◇法人立認可保育所5カ所の新設整備に対する補助 4億4,647万円
 - ◇認可保育所または小規模保育事業への移行を計画している認可外保育施設に対する運営費や施設改修費などの補助 1億5,375万円
 - ◇子ども・子育て支援新制度の施行に伴う「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」の策定 648万円

- ### 衛生費
- ◇「藤沢市健康増進計画(第2次)」の策定と「藤沢市歯及び口腔の健康づくり推進条例」の制定 538万円
 - ◇胃がんリスク検診ほか各種がん検診の実施 6億4,616万円

- ### 消防費
- ◇消防救急無線デジタル化に係る基地局整備工事と指令システム改修などの実施 11億6,244万円
 - ◇北消防署遠藤出張所の新設に向けた地質・測量調査と基本設計の実施 943万円

2014年度に実施した主な事業(継続事業を含む)は次の通りです。

- ### 労働費・農林水産業費・商工費
- ◇「若者しごと応援塾：ユースワークふじさわ」や湘南合同就職面接会の実施 2,237万円
 - ◇藤沢市公共施設再整備基本方針に基づき「藤沢市民館・労働会館等再整備基本構想」を策定 1,652万円
 - ◇水利組合が実施する農業用水路などの改修への助成 1,658万円
 - ◇市内経済の活性化のため「ふじさわ元気バザール」を開催 560万円
 - ◇「ふじさわまるごと抽選会」事業への助成 1,591万円
 - ◇市内施工業者により実施した個人住宅へのリフォームに対し費用の一部を助成 1,985万円
 - ◇「サイクルチャレンジカップ藤沢」の開催 500万円
 - ◇湘南藤沢フィルム・コミッションフォーラムと第5回ロケーションジャパン大賞準グランプリ授与式を開催 15万円

- ### 土木費
- ◇戸中橋線ほか5路線の道路改良工事の実施 4億6,811万円
 - ◇橋りょうの耐震化・長寿命化のため耐震補強や予防保全型補修工事を実施 1億4,672万円
 - ◇藤沢駅北口第2自転車等駐車場と長後駅西口自転車等駐車場の整備 3億6,441万円
 - ◇いずみ野線延伸に向けA駅・B駅周辺のまちづくり基本計画案の取りまとめ 2,908万円
 - ◇街なみ景観フォーラムの開催と「旧東海道藤沢宿街なみ継承ガイドライン」の策定 112万円
 - ◇「健康と文化の森」と「新産業の森」を結び(仮称)遠藤葛原線の事業用地を取得 1億8,050万円
 - ◇藤沢駅周辺再活性化に向け、藤沢駅北口通り線他2路線の整備、南北自由通路の拡幅検討、先行して設置する北口エスカレーター設計業務などの実施 2億9,692万円
 - ◇柄沢特定土地区画整理事業に合わせノ下公園予定地地下部に雨水調整池を整備するための工事に着手 7億3,240万円

- ### 教育費
- ◇いじめ問題対策連絡協議会において「藤沢市子どもをいじめから守る条例(案)」の検討など、いじめ防止施策について協議 31万円
 - ◇小学校2校に先行的にタブレット端末と校内LANを整備 340万円
 - ◇校務支援システムの運用開始 6,811万円
 - ◇津波対策として湘洋中学校に非常用屋外階段を設置 6,766万円
 - ◇滝の沢小学校・駒寄小学校に給食調理室を新設(全小学校の給食調理室単独校化完了) 6億1,350万円
 - ◇善行中学校・湘南台中学校において中学校給食の試行を開始 4,639万円
 - ◇ふじさわ宿交流館整備のため設計委託などを実施 1,867万円
 - ◇(仮称)藤澤浮世絵館整備のため設計委託を実施 1,058万円
 - ◇東海道シンポジウム藤沢大会の開催 499万円
 - ◇藤沢市アートのスペースの整備 3,257万円
 - ◇(仮称)天神スポーツ広場整備のための測量の実施・設計に着手 769万円

総務省方式改訂モデルによる藤沢市貸借対照表

【資産や負債の状況が分かります】
貸借対照表とは、市がこれまで整備した学校・道路など公共施設の保有状況や、市が持っている現金・債権などがどのくらいあるか、またこれらを整備するために借り入れた負債がどのくらいあるかなどを示したもので、「総務省方式改訂モデル」に基づき作成したものです。

2014(平成26)年度貸借対照表(普通会計)		2015年3月31日現在(単位:百万円)	
借方	貸方	借方	貸方
【資産の部】 1. 公共資産 1,516,405 (1) 有形固定資産 1,444,111 (2) 売却可能資産 1,093 2. 投資等 56,030 (1) 投資および出資金 43,321 (2) 貸付金 7 (3) 基金など 11,218 (4) 長期延滞債権 2,127 (5) 回収不能見込額 △ 643 3. 流動資産 15,171 (1) 現金・預金 14,695 (2) 未収金 476	【負債の部】 1. 固定負債 103,324 (1) 地方債 63,366 (2) 長期未払金 11,188 (3) 退職手当引当金 17,400 2. 流動負債 11,370 (1) 翌年度償還予定地方債 7,382 (2) 未払金 1,143 (3) 翌年度支払予定退職手当 1,459 (4) 費与引当金 1,386 【純資産の部】 1,413,081 1. 公共資産等整備国庫補助金など 83,820 2. 公共資産等整備一般財源など 560,572 3. その他一般財源など △ 32,605 4. 資産評価差額 801,294 負債・純資産合計 1,516,405	【資産の部】 1. 公共資産 1,714,203 2. 投資など 1,636,166 3. 流動資産 56,959	【負債の部】 1. 固定負債 186,966 2. 流動負債 160,185 【純資産の部】 1. 公共資産等整備国庫補助金など 125,706 2. 公共資産等整備一般財源など 578,364 3. 他団体および民間出資分 221 4. その他一般財源など 1,663 5. 資産評価差額 821,283 負債・純資産合計 1,714,203
資産合計 1,516,405		資産合計 1,714,203	

市民1人当たりの資産・負債額(普通会計)(2015年3月31日現在 藤沢市人口 423,435人)
●市民1人当たりの資産額 約358.1万円 ●市民1人当たりの負債額 約24.4万円

財政健全化法による健全化判断比率などの算定結果

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)に基づく健全化判断比率および公営企業の資金不足比率の算定結果は右表の通りです。
財政健全化法では、健全化判断比率および公営企業の資金不足比率が一定の基準を超え財政状況が悪化した場合には、財政健全化計画または財政再生計画の策定を義務付けています。
2014年度決算に基づく本市の健全化判断比率は、いずれも基準を下回り、公営企業についてもいずれも資金不足を生じていないため、財政状況が「健全」であることを示す結果となりました。

健全化判断比率の算定結果

比率区分	藤沢市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	-% (△6.00%)	11.25%	20%
連結実質赤字比率	-% (△18.97%)	16.25%	30%
実質公債費比率	2.2%	25%	35%
将来負担比率	11.3%	350%	

(注)実質赤字比率および連結実質赤字比率の比率欄「-%」は、それぞれ比率の算定の結果、「実質赤字額がない」ことを表しており、参考としてマイナスの比率を()で表記しています。

資金不足比率の算定結果

公営企業に係る特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
下水道事業費特別会計	-% (△11.2%)	
市民病院事業会計	-% (△43.8%)	20%

(注)資金不足比率の比率欄「-%」は、資金不足比率の算定の結果、「資金不足額がない」ことを表しており、参考としてマイナスの比率を()で表記しています。